

報道機関各位

新しくなる「防災気象情報」への市の対応について

令和8年5月29日（金）から、気象庁が発表する大雨・河川氾濫・土砂災害・高潮に関する防災気象情報の名称と体系が新しくなります。避難行動に対応した5段階の警戒レベルで発表され、避難判断の目安が明確になります。当該情報を踏まえ、福岡市が発令する避難情報等については下記のとおりです。

また、福岡市では、大雨により小規模な河川での水位上昇や内水氾濫のおそれが高まった場合に、市独自の取組みとして、新たに「注意喚起情報」を発表します。

今後、当該情報が発表された際には、市民への情報発信について、ご協力をお願いいたします。

記

1 新たな防災気象情報について

【気象庁が発表する警報・注意報等（R8.5.29～）】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

※ 詳細は別添の気象庁作成のチラシのとおり

【福岡市が発令する避難情報等】

	避難情報等	取るべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！

<警戒レベル4までに必ず避難！>

警戒レベル4	避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
警戒レベル2	※市から必要に応じて 「注意喚起情報」を発表	自らの避難行動を 確認する
警戒レベル1		災害への心構えを 高める

2 注意喚起情報の発表について（大雨の場合）

【目的】

- ◆ 低い土地や増水している河川付近にいる人に対して、河川水位の上昇や浸水などに関する注意を促すこと
※すぐに避難を促すものではありません

【発表要件】

- ◆ 市内にレベル2大雨注意報（等）が発表されている状況下で、気象庁が発表する災害の危険度を示す「キキクル」の情報を基に、今後の状況悪化が見込まれる場合

【発信方法】

- ◆ 市ホームページ、防災メール、福岡市 LINE 公式アカウントなどで発信

【防災メール文面イメージ】

【件名】 大雨に関する「注意喚起情報」

【本文】

こちらは福岡市です。

大雨に関する「注意喚起情報」を発表しましたのでお知らせします。

気象庁から福岡市にレベル2大雨注意報が発表されており、水位が上がっている河川があります。

小規模な河川の氾濫や低い土地の浸水に注意してください。

- 増水している河川や水路等には近づかないように注意しましょう。
- 地下空間では、外の状態がわからず、急激に水が流れ込むおそれがあるため注意しましょう。
- アンダーパスでは車が水没するおそれがあるため注意しましょう。

【報道機関への連絡イメージ】

別紙のとおり

【問い合わせ先】

福岡市市民局 防災推進課

担当：江野（えの）

TEL：092-711-4153（内線 1721）

令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

防災気象情報

いつ逃げる？
**レベルで
判断！**

避難の判断がよりしやすし

【一
覧
表
】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			



警報・注意報の情報名に「レベル」が
付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧) 「大雨警報」

→ (新) 「レベル3大雨警報」

警戒レベル3（高齢者等避難）に相当



「警戒レベル4相当」の情報は
「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧) 「土砂災害警戒情報」

→ (新) 「レベル4土砂災害危険警報」



河川の氾濫の危険度の伝え方が
変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。

今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】

(旧) 「洪水警報」

→ 【洪水予報河川※】

(新) 「レベル3氾濫警報」

→ 【洪水予報河川以外の河川】

(新) 「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川



線状降水帯の発生などは
「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧) 「顕著な大雨に関する気象情報」

→ (新) 「気象防災速報（線状降水帯発生）」

(旧) 「記録的短時間大雨情報」

→ (新) 「気象防災速報（記録的短時間大雨）」



避難のタイミングは レベルで判断



災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

数日～
1日前

レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～
数時間前

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～
3時間前

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～
0時間前

レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

災害
発生

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

災害の情報、 どう受け取る？



警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



大型で非常に強い台風の号、直撃の恐れ



このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル 検索

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

〇〇市	地域	2026年XX月XX日11時00分発表												備考・関連する現象	
		12:15	15:18	18:21	21:24	00:03	03:06	06:09	09:12	12:15	15:18	18:21	21:24		
1時間最大雨量(mm)		10	30	50	50	30	20	10							
24時間最大雨量(mm)		200						200							
大雨															
土砂災害															
高潮	潮位(m)	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.5	2.0	1.5	1.0	0.5				

案

令和〇年〇月〇日

福岡市長

(市民局防災・危機管理部)

注意喚起情報

河川水位上昇、内水氾濫のおそれあり

対象：市内全域

<詳細>

日時	令和〇年〇月〇日	〇時〇分
発表内容	大雨に関する注意喚起	

<取るべき行動>

気象庁から福岡市に大雨に関する注意報が発表されており、水位が上がっている河川があります。

小規模な河川の氾濫や低い土地の浸水に注意してください。

- ・増水している河川や水路等には近づかないように注意しましょう。
- ・地下空間では、外の状態がわからず、急激に水が流れ込むおそれがあるため注意しましょう。
- ・アンダーパスでは車が水没するおそれがあるため注意しましょう。

※本件は福岡市から発令する避難指示等の情報ではなく、事前に注意喚起を促すための情報です。

担当：福岡市 市民局 防災・危機管理部

電話：092-711-4056

FAX：092-733-5861